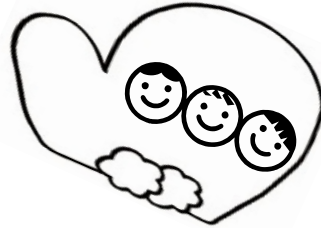




きっずかわらばん 2月号

もう暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いていますね。白い息を吐きながら「おはようございます!」「こんにちは!」とあいさつをしてくれる子どもたち。元気に寒さを乗り越えたいものですね。



ぴちチャレ Vol.11

今回のテーマは、「**できたことを褒めよう**」です。

毎日少しずつ、子どもたちのできることが増えていっていると思います。めやすばこでは、できたことの積み重ねを大切に、小さなことでもできたことや、苦手でも取り組めたことに対して、褒めていくことを心がけています。褒められることによって、

- ・自分に自信をもつことができる
 - ・「できた」という成功体験を積むことができる
 - ・次も頑張ろうという意欲がもてる
- 等につながっていきます。

また、どうして褒められたかを具体的に伝えることも大切です。「すごいね!」だけでは、何を褒められたのかがわかりません。なぜ褒められたかがわからないと、成功体験や意欲につながりにくいです。例えば、

- ・「最後までできたからすごいね!」
- ・「自分からあいさつができたからすごいね!」

等と、具体的に褒めることが大切です。子どもたちの小さな「できた!」という気持ちを大切にしていましょ。

構造化について



前回のかわらばんでは、「物理的構造化」についてご紹介させていただきました。今回は、構造化のアイデアの1つ「スケジュール」についてご紹介します!

子どもたちの中には、時間を整理・調整・変更することが苦手な子がいます。**スケジュールとは、視覚的に「いつ」「どこで」「何を」の情報を伝え、見通しや予定の変更を伝えるものです。**見通しをもって自立的に活動することを目的としています。スケジュールの情報の伝え方は一人ひとり異なります。例えば、

- ・**何で伝えるか**→写真、実物、絵(イラスト)、単語、文章(短い、長い)等
- ・**呈示の仕方**→スケジュールの量や大きさ、形態(カードやチェック式)、向き(縦、横)、場所(固定型、持ち運び型)等

どのような情報提供がその子にとってわかりやすいかを見極めて使っていく事が必要です。

また、スケジュールでは、予定は毎日同じではなく変わることがあるということも伝えていきます。予定が変わった場合は、中止、追加、変更を伝えていきます。口頭だけではなく視覚的に伝えることで理解しやすく、活動の流れ等の情報を整理しやすくなります。スケジュールを自分で見て確認する習慣は、例えば、小学校等で、自分で時間割を確認して次の授業の用意をしたり教室移動をしたりすることにもつながります。

めやすばこでは、スケジュールをこのように呈示しています!(絵カードでの例) /

(中止の場合)



(追加の場合)



(変更の場合)

